

ハマボウフウの海岸砂地への定植方法

福島県農業試験場 いわき支場
平成16年度農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜－その他生葉及び香辛類－移植
分類コード 03-31-07000000

2 担当者

常盤秀夫・石郷岡典子

3 要 旨

ハマボウフウを自生地である砂浜へ定着させるには、土壤水分が安定していることが必要であるため、溝植えおよび地中埋め込み方法を検討し、以下の成果を得た。

- (1) 地中に苗を埋め込む方法では、通常の定植方法と比較して生育は同等あるいはやや劣り、埋込深さ30cmでは越冬後の欠株が多かった。
- (2) 溝植え方法は、他の定植方法と比べて生育が優れたが、植付深さ20～30cmで特に生育が優れた。

以上の結果、ハマボウフウの砂浜への定植方法は、活着や生育の良さ、越冬後の欠株率等を考慮すると、深さ20～30cmの溝植えが適する。

4 その他の資料等

なし